

静岡県伊豆市における 廃校活用(みそ工場)

伊豆市役所財務課

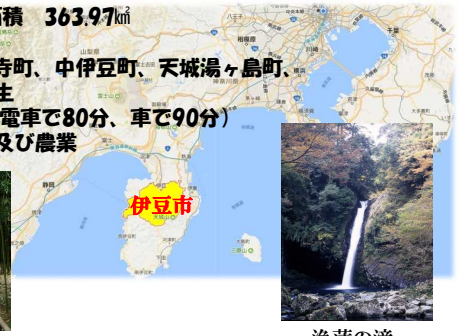
伊豆市について (宣伝)

静岡県伊豆市

- 人口 31,411人 面積 363.97km²
人口密度 86.3人/km²
- 平成16年に4町(修善寺町、中伊豆町、天城湯ヶ島町、土肥町)の合併により誕生
- 首都圏から約100km(電車で80分、車で90分)
- 産業のメインは観光業及び農業



修善寺温泉「竹林の小径」



浄蓮の滝

廃校活用にあたって取り組んだ事

平成20年代前半
伊豆市内の小学校及び幼稚園の統廃合が相次ぐ → 方向性の検討

Step1.廃校の活用方法について地元との意見交換により意向確認
→利用したい意思がないことを確認

Step2.廃校及び廃園施設(7施設)を一括で公募!
(PR方法:広報、HP、プレスリリース、みんなの廃校P)

Step3.企業から提案が来ました!
(旧大東小学校・貸付による食品製造工場として利用)

企業決定の決め手

提案審査会による審査を実施!!

旧大東小学校の審査((株)ナチュラルキッチン様)の経過

- 事業内容が優れていた点(コンセプトや経済効果等)
- 地元雇用や地元への定住促進に期待できる点
- 企業規模から見た実現可能性
- 地元における事業実績

…などの点が特に高い評価を受けた

審査結果

(株)ナチュラルキッチン様の提案が高い評価を受け採用!
→地元協議へ

課題と解決

課題1

体育館が指定避難所となっていたこと
→敷地の全面貸付が出来ないため、地元との調整が必要

解消方法

- 地元住民が貸付地を通行せざずに体育館へ辿りつけるように動線を確保

課題2

地元から愛着のある校舎を民間企業が利用する。
→拒否反応を示す住民が存在する。

解消方法

- 度重なる地元説明会の実施
- ナチュラルキッチン様の地元へ寄り添う姿勢(重要)

廃校活用のメリット

住民側のメリット

…学校は地元からしてみるとシンボリックな存在だが、廃校は利活用がなければ通常解体してしまう。
★地元へ寄り添う姿勢の企業が廃校を活用してくれれば、シンボルを失わずに済む地元住民の感情は抑えられる。
(地元を大事にしてくれない企業の場合は難しい可能性あり)(重要)

行政側のメリット

★財政負担の軽減(維持管理経費の抑制、賃借料による財源)
例:伊豆市の場合 維持管理経費約240万円⇒0円+賃借料による財源
★雇用の創出、地域産業の創出

まとめ

廃校を民間企業が利用してくれることは、行政にとって大きなメリットがある。ただし、地元と共存を望まない企業ではリスクが高く、リスクがメリットを上回る可能性もあるため、慎重な判断が求められる。